



【一般公開】

『世界遺産の現状と今後』

～ 松浦晃一郎特任教授による特別講義 ～

名古屋学院大学では、11月12日(土)14時00分～16時00分、本学名古屋キャンパス白鳥学舎希館2階201教室にて特別講義『世界遺産の現状と今後』を実施します。当日は、松浦晃一郎名古屋学院大学特任教授による講演の他、本学国際文化学部生によるインドネシア・アチェの民俗舞踊(ユネスコ無形文化遺産)の披露を予定しています。一般の方も入場無料・事前登録不要でご参加いただけます。

【講義の内容】

松浦晃一郎特任教授(2016年度本学就任、第8代ユネスコ事務局長)は、ユネスコ在任中、とくに世界遺産(文化遺産、自然遺産)の登録・保全に積極的に取り組み、世界無形文化遺産条約の成立に注力しました。現在、それらが日本の世界遺産登録にも大きなインパクトを与え、次々と登録の実を結びつつあります。今回の特別講義では「世界遺産の現状と今後」について、遺産条約の精神を基に日本の取り組みの実体を踏まえた広範にわたる話を予定しています。世界中を震撼させている紛争や難民問題により、世界遺産の中には破壊され消滅の危機にあるものも少なくありません。文化を守ることは世界平和の第一歩です。松浦特任教授の話とともに、本学の取り組みや名古屋を拠点に展開している国連活動などの紹介も併せて、有意義な時間を持ちたいと考えています。

【当日スケジュール】

- 13:30 開場
- 14:00 開会挨拶(名古屋学院大学学長 木船久雄)
- 14:05～15:00 特別講義『世界遺産の現状と今後』(名古屋学院大学特任教授 松浦 晃一郎)
- 休憩
- 15:10～16:00 【ステージ・プログラム】
学生活動紹介、インドネシア・アチェの民俗舞踊(ユネスコ無形文化遺産)等
- 16:00 開会挨拶(名古屋学院大学国際文化学部長 木村光伸)

<特別講義『世界遺産の現状と今後』～松浦晃一郎特任教授による講演～>

- 開催日時 : 2016年11月12日(土) 14:00～16:00(開場 13:30)
- 開催場所 : 名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎希館2階201教室
(〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号)
※地下鉄名港線「日比野駅」、名城線「西高蔵駅」徒歩約8分 駐車場はありません
- 定 員 : 200名程度(入場無料・事前登録不要)
- 講演者 : 名古屋学院大学特任教授 松浦 晃一郎
- ゲストスピーカー : 高瀬 千賀子氏(国際連合地域開発センター所長)